

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市環境整備協会
-----	-------------------

所管課	環境局 業務課
-----	---------

団体に対するミッション
<p>ごみ収集部門では、市民サービス水準を維持するとともに、収集コスト面で民間委託業者を牽制する役割を担う。</p> <p>検査分析部門では、市内唯一の浄化槽法定検査機関としてその役割を着実に担うとともに、環境学習・啓発・国際協力事業を積極的に展開する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>現在、同団体は、環境保全への貢献、ごみ収集における市民サービスの水準の維持、収集コスト面での民間への牽制などの役割を担っている。</p> <p>今後、家庭ごみの収集業務の全面民間委託化を進める中で、委託化の進捗状況を十分に見極めながら、同団体のあり方や役割を検討していく。</p> <p>検査分析部門のうち、民間と競合する部分については、今後のそのあり方を検討する。</p>

ミッションに基づく中期計画							
3~5年後に目指す状態	ごみ収集部門では、継続して収集コスト面で民間委託業者を牽制する役割を担う。検査分析部門では、環境学習・啓発・国際協力事業を積極的に展開して、参加者数、育成技術者数の増加を図る。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
ごみ1トンあたりの収集運搬経費	<協会> 14,462円 <民間> 16,670円	民間業者より安価	民間業者より安価	民間業者より安価	民間業者より安価	民間業者より安価	民間業者より安価
評価・提言の周知状況（自然環境の調査研究）	HP掲載	HP掲載	HP掲載	HP掲載	HP掲載	HP掲載	HP掲載
子どもの参加数（環境学習事業）	667人	650人	531人	650人	650人	650人	651人
発展途上国の育成技術者数（累計）	1,198人 (H21年以降)	1,130人	1,276	1,230人	1,330人	1,430人	1,480人

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）			
団体における評価	<p>ごみ収集部門では、収集コストを民間より安く抑えることで、民間委託業者を牽制する役割を担うことができた。また重大事故の発生はなく、事故件数も減少しており、安定した収集体制を維持することができた。</p> <p>検査分析部門では、小学生を対象とした環境学習では参加者数は減少したものの実施校数は目標を達成しており、国際協力事業においても発展途上国の育成技術者数が目標を上回るペースで達成するなど、積極的に事業展開することができた。と考える。</p>	市の評価	<p>ごみ収集部門では、コストを抑制するとともに、適正な収集運搬業務を行い、市民サービスの水準を維持している。なお、事故件数については前年度を下回ったものの、安定的な収集体制の確保を図るため、更なる事故防止に向けた取り組みが必要である。</p> <p>検査分析部門では、引き続き環境学習事業に積極的に取り組むとともに、国際協力事業では発展途上国の育成技術者数を増やすなどの成果を上げた点は評価できる。</p>
	今後の課題及び見直し内容（案）		<p>ごみ収集部門では、引き続き職員研修等により安全運転を徹底し、事故を防止することで、更なる収集体制の安定を図る。</p> <p>検査分析部門では、新たな環境学習事業の構築及び国際協力事業の新規案件の提案を行い、取り組みを強化していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
<p>ごみ収集及び検査分析両部門において、受注増及びコスト削減に努め、効率的な体制を維持することで、3年連続黒字を維持することができ、協会全体の安定的な運営を継続することができた。</p>	